

わ げん あい ご 和 顔 愛 語

西法寺だより No.4 令和2年11月発行

ごあいさつ

未だに収束をみせない新型コロナウイルス感染症ですが、西法寺としましては浄土真宗のみ教えを伝えるべく、できる限り法要・法事・月忌参りを行っております。5月の永代経参拝はご遠慮いただき動画配信といたしました。7月の常例法座、盆会、秋季彼岸会は感染予防対策を取りながらご門徒のみなさまにご参拝いただきました。

11月の報恩講法要も座数は減らしますがおつとめいたしますのでみなさまのご参拝をお待ちいたしております。

ご門主さまのお言葉

現在のご門主・第24代専如上人は平成30年に「私たちのちかい」という4カ条のお言葉を示されました。

その4カ条とその際に述べられたお言葉をご紹介します。

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく 穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく 人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき 日々精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

「私たちのちかい」についての親教しんきょう

私は伝灯奉告法要でんとうほうこくほうようの初日ねんぶつしゃ（平成28年10月1日）に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲だいちだいひからなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきます。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要かんようを「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

～ 私たちのちかい ～ （前頁記載）

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗しめいのみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018（平成30）年11月23日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

この「ちかい」は、相手の身になって穏やかな心と暖かい言葉を持って接し、人と喜びや悲しみを分かち合い、穏やかな生活を営みましようとする示されています。

一人で生きているのではなく、仏さまと多くの方々と生活していることを喜び、この4カ条を唱和してまいりましょう。

浄土真宗のおはなし

とう みょう 灯 明

昔の人々にとって灯明は暗闇を照らす極めて大切なものでした。

このように大切なものを佛前ぶつぜんにお供えすることによって佛さまの徳とく たたを讃えたのであり、灯明をお供えすることは釈尊しやくそんの時代から行われていたと伝えられています。

ある王様が自分の力を示そうとして釈尊にたくさんの灯明を捧げました。同じときに貧しい老女が心をこめた一灯をお供えしました。王様の灯明は次々と消えていったのに老女の灯明はいつまでも明々と輝きつづけたそうです。これが有名な《貧者ひんじゃの一灯いっとう》の伝説です。

灯明は古くは皿に油を入れ、灯芯を使って点灯していました。蠟燭ろうそくが發明され、次第に普及するようになったので浄土真宗では香・華とともに蠟燭をも佛前にお供えします。

普段は白、報恩講や七回忌以後の年忌法要などには朱色いかりがたに塗った碗型わんがた和蠟わろうを用います。



佛ほとけの国こくにに生まれたいと
心こころから願ねがう人々は
— 中略 —
繒きぬはたを懸かけ、灯あかりをともし、
花はなを供そなえ、香ことうを薰くんじる
『大無量寿経』より

行事報告

4月 常例法座 — 中止

5月 永代経法要 — 参拝なし 法要動画配信

6月 常例法座 — 中止

7月 常例法座
8月 盂蘭盆会
9月 秋季彼岸会

参拝者の感染症対策を行い
おつとめ

えいたいきょうほうみょうじく
永代経法名軸



西法寺 今後の予定

- ◆ 報恩講法要…11月12日(木) 午後7時より
おうじょうらいさんにちもつげ
「往生礼讃日没偈」「ご法話」
- 11月13日(金) 午後1時30分より
しょうしんねんぶつげさほう
「正信念仏偈作法」「ご法話」
*例年より短縮してお勤めいたします。どうぞご参拝ください。
- ◆ 西法寺もちつき…中 止
- ◆ 除夜の鐘…12月31日(木) 午後11時45分より除夜の鐘開始
除夜の鐘終了後 がんたんえ 元旦会
「正信念仏偈(行讃)・和讃」

ががく しょうみょう しら
「雅楽と聲明の調べ」令和3年3月31日 開催決定

令和2年3月13日の開催を予定しておりました真宗文化研究会
25周年記念「雅楽と聲明の調べ」の振替日が決定いたしました。
前回申し込まれた方に限り再度チケットをお渡しいたします。
(新規チケット受付はありませんのでご了承ください)
是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。



臥龍山 西法寺

〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇110
TEL 079-254-3777 FAX 079-254-4588
<https://saihouji.localinfo.jp/>